

第 37 回大分 NST 研究会報告

医療法人 鶴岡クリニック 歯科・口腔外科 森崎重規

2024年1月20日にホルトホール大分にて、第37回大分NST研究会を開催致しました。本研究会は、多くの諸先輩方のお力添えとご協力を賜り、私、森崎が当番世話人として担当させて頂き、183名の多職種の方がご参加くださいました。メインテーマは、「NSTなら変えられる！口から食べるクオリティ」としまして、NSTの下、口から食べることを再考する機会として提案させて頂きました。

一般演題は、6演題の発表があり、座長を国立病院機構別府医療センター手術部長の松本敏文先生、副座長を主任管理栄養士の尾池康子先生に務めて頂きました。演題と演者は以下の通りです。

- ① 「栄養補助食品の廃棄減少と摂取量改善に向けた取り組み」
独立行政法人国立病院機構 西別府病院 看護師 坂本明菜 先生
- ② 「とろみ度の標準化を経て効率化へ～安全なとろみ水の提供を継続するための取り組み～」
津久見市医師会立津久見中央病院 栄養部 管理栄養士 樋口愛美 先生
- ③ 「当院における胃瘻造設患者の実態調査～その②」
国家公務員共済組合連合会 新別府病院 栄養地域連携室 管理栄養士 田崎亮子 先生
- ④ 「摂食嚥下チームの状況と今後の課題」
国家公務員共済組合連合会 新別府病院 摂食嚥下障害看護認定看護師 濱田智恵美 先生
- ⑤ 「新型コロナウイルス感染症蔓延期の栄養サポートチーム（NST）活動および歯科医師連携を振り返って」
大分岡病院 栄養サポートチーム 歯科医師 竹内正彦 先生 他
- ⑥ 「調剤薬局と一緒に外来透析患者の栄養療法に介入した一例」
JCHO 南海医療センター 薬剤部 薬剤師 佐々木達也 先生

いずれの演題も、たいへん興味深いご発表でした。栄養管理に関わるきめ細かな対応と院内での多職種による取り組みの実際を知ることができました。

一般演題の後、私、森崎が基調講演として、「病院と生活の場を繋ぐ退院ノートは、お節介ノートで終わるのか!!」を演題に、大分NST研究会と大分県歯科医師会の多職種共同事業の経過報告をさせて頂きました。厚労省の地域医療介護総合確保基金を元にした3年間の継続事業の2年目が終わりましたが、まだまだ栄養と口腔管理が介護現場では、十分に対応されていない現状です。大分県歯科医師会では、引き続き、生活の場における口腔と栄養管理推進のため研究会の先生方とともに残り1年の事業展開を進めて参ります。

特別講演は、NPO 法人口から食べる幸せを守る会理事長 小山珠美 先生を講師に「KTBC による包括的食支援連携」の演題で、ご講演を頂きました。講演を通し、嚥下障害を「障害」として、口から食べることを諦めるのではなく、ご本人の思いと可能性を引き出し、それに答えていく姿勢が大切であることを再認識できました。

今回の研究会では、(一社)大分県病院薬剤師会様、(株)大給様をはじめ、キッセイ薬品工業(株)様、ハウスギャバン(株)様、(株)フードケア様 ヘルシーフード(株)様、ホリカフーズ(株)様 雪印ビーンスターク(株)様から多大なご協賛を頂き、研究会を盛大に開催することができました。心より感謝申し上げます。

また、大分県医師会 大分県歯科医師会 大分県看護協会 大分県歯科衛生士会、大分県栄養士会 大分県医療ソーシャルワーカー協会 大分県言語聴覚士協会 大分県理学療法士協会 大分県作業療法協会の各関連団体のみなさまにもご後援頂き、ありがとうございました。

次回の第38回大分NST研究会は、本年6月に国立病院機構別府医療センター手術部長の松本敏文 先生が当番世話人として開催頂く事になっております。研究会のみなさまとともに引き続き研鑽を積んで参りたいと思います。多くの先生方のご参加、誠にありがとうございました。次回研究会を楽しみにしております。

基調講演 森崎先生



新別府病院 田崎栄養士



田崎栄養士
今回で事務局を退任されます。
長い間、ありがとうございました

南海医療センター 佐々木薬剤師



特別講演 小山先生





多くの方に参加していただきました



会場のブースも盛況でした



(左から)

- ・代表世話人 唐原先生
- ・特別講師 小山先生
- ・佐賀関病院 管先生
- ・当番世話人 森崎先生

唐原先生が大分 NST 研究会の代表世話人を退任され管先生が新しい代表世話人になります。

唐原先生、長い間お世話になりました。